

日時 平成28年9月27日
午後7時～9時
場所 速川公民館



H	2	8		
速	川	地	区	
ま	ち	づ	く	り
ふ	れ	あ	い	
ト	ー	ク		

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 昨年のふれあいトークの対応状況について
- 4 平成28年度分わかりやすい予算書
及び地区の事業概要について
- 5 質疑応答
- 6 おらっちゃ創生に向けて
- 7 意見交換会
- 8 閉会

市長あいさつ

昨年度のふれあいトークの 対応状況について

■これまでの質問や要望の対応

対応済

2305-イノシシ対策隣県との連携

28年度内

2310-グルメ博の特産テントの配置

可能

29年度以降

2304-小学校の統合
2307-ワイヤメッシュの助成額増
2311-CATV回線の更新
2313-415号のバイパス完成

未定

2312-上田早借線の草刈りの補助

参考意見

2301-捕獲したイノシシの解放
2303-自然保護団体からの基金協力
2306-イノシシ問題の具体的な回答
2308-市外に住む市職員の移住
2309-草刈り機、運転手の貸し出し

■これまでの質問や要望を4つの基本目標に分類

28まちづくり
ふれあいトーク

1.安定した雇用を創出する

2.新しいひとの流れをつくる

2310-グルメ博の特産テントの配置

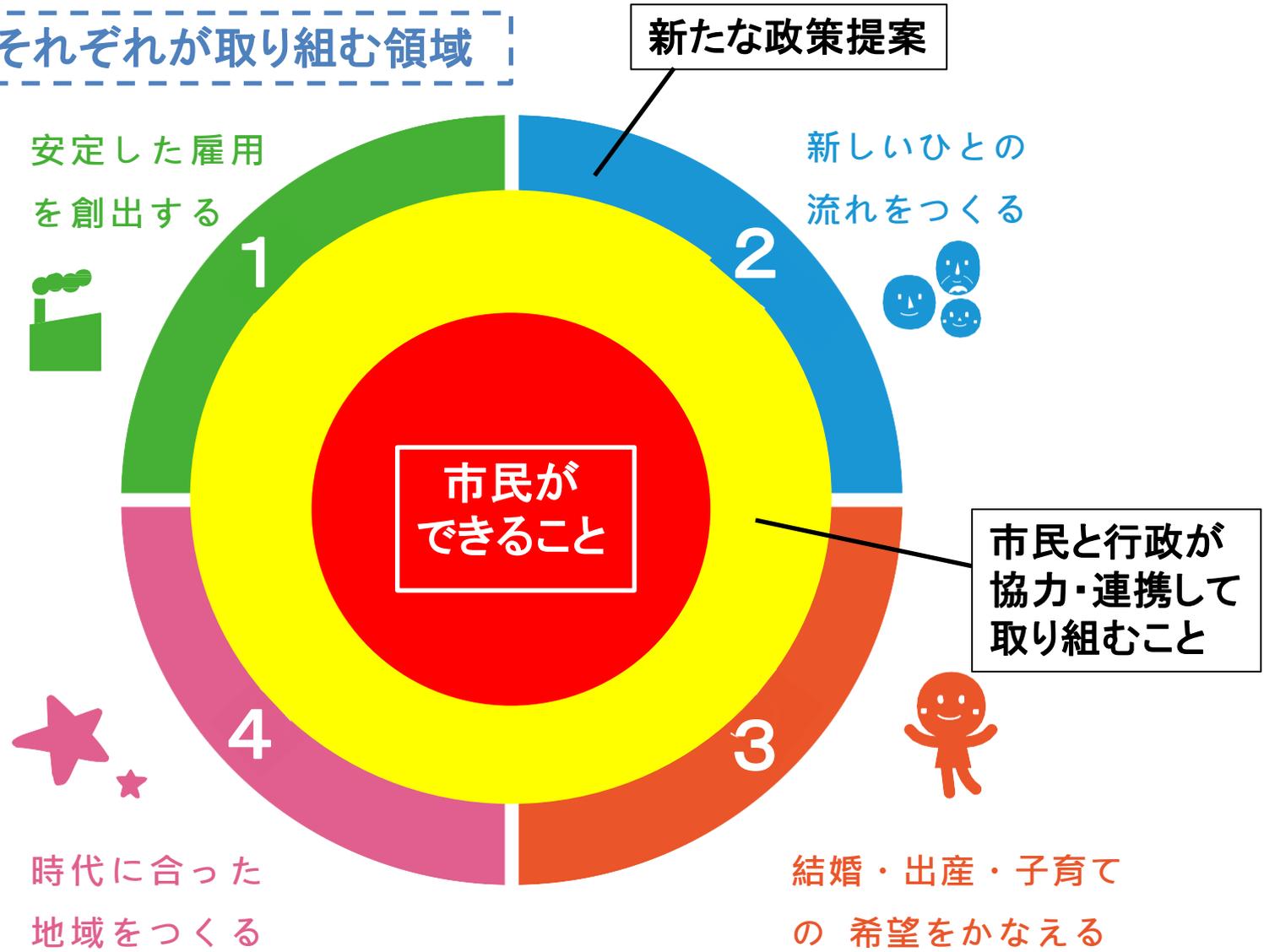
4.時代に合った地域をつくる

2305-イノシシ対策隣県との連携
2307-ワイヤメッシュの助成額増
2311-CATV回線の更新
2313-415号のバイパス完成

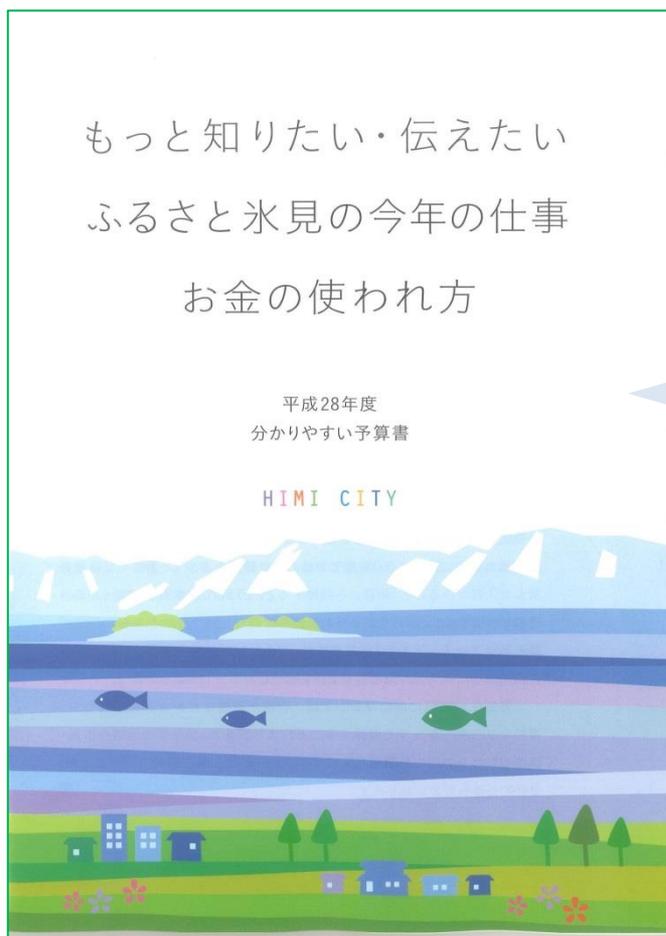
3.結婚・出産・子育ての希望をかなえる

2304-小学校の統合

地方創生・それぞれが取り組む領域



4 平成28年度分かりやすい予算書



この1冊で
氷見市の予算が
財政が
「見える・分かる」

氷見市総務部財務課

1 発刊のねらい

人口減少時代における地方創生の地域づくりを進める上で、現在の氷見市の財政状況や、市民の皆様からお預かりした大切な「公金」の使い道について、積極的な情報公開を進めることにより、氷見の未来政策への理解を深めていただき、「協働(＝おらっちゃ創生)のまちづくり」を推進することを目的としています。



2 予算書の内容

平成28年度分わかりやすい予算書の構成は、次のとおりです。

(1)	氷見市の予算と財政状況	P10～29
(2)	平成28年度予算の個別事業紹介	P31～109
(3)	暮らしの情報編	P111～137



(1) 氷見市の予算と財政状況

- Q1 平成28年度予算の概要はどのようになっていますか？
- Q2 氷見市民“一人当たり”どれだけの予算があるの？
- Q3 氷見市の予算にはどんな《収入》があるの？
- Q4 氷見市の予算にはどんな《支出》があるの？
- Q5 氷見市の財政の現状は？
- Q6 氷見市の貯金と借金はどれぐらい？
- Q7 氷見市の資産の現状と今後の見通しは？

「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

(1) 氷見市の予算と財政状況

市民一人当たりの予算額

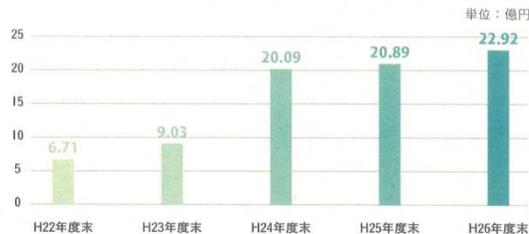
42万1千円

子育て、高齢者福祉など	(民生費)	11万円 (26.1%) (子育て) 5万5千円 (高齢者福祉など) 5万5千円
健康づくり、環境保全など	(衛生費)	6万2千円 (14.7%)
借金の返済	(公債費)	5万5千円 (13.0%)
道路、河川の整備など	(土木費)	5万3千円 (12.6%)
防災・自治振興など	(総務費)	5万2千円 (12.3%)
学校の管理、生涯学習など	(教育費)	2万7千円 (6.4%)
農林水産業の振興など	(農林水産業費)	2万1千円 (5.0%)
消防活動など	(消防費)	1万3千円 (3.1%)
その他	(議会費、商工費など)	2万8千円 (6.8%)

(1) 氷見市の予算と財政状況

Q6 氷見市の貯金と借金はどれくらい？

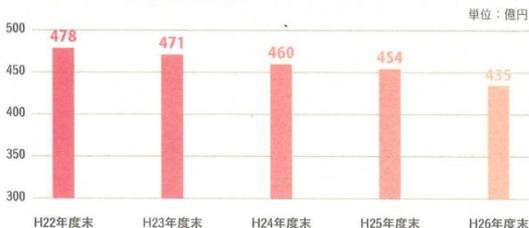
A 氷見市の財政調整基金（いわゆる貯金）の残高は、次のとおりです。



ポイント

- 財政調整基金は、急激な収入の落ち込みや災害の発生などにより一時的に多額の経費がかさむなどの不測の事態に備えて積み立てるものです。
- ここ数年は、財政調整基金の残高は増加傾向にありますが、今後のまちづくりのための事業に備え一定程度の残高を確保する必要があります。

氷見市の債務（いわゆる借金）の残高は、次のとおりです。



ポイント

- ここ数年は、借入金の繰上償還の実施に伴い、債務総額は徐々に減少してきています。
- しかし依然として過去の借金の返済に要する経費が市の予算に占める割合が高いこと、今後も新規の借入れなどについて適正に管理する必要があります。

🔊 ここまでを振り返って…

ここまで、氷見市の平成28年度の当初予算の概要と、財政の現状について紹介させていただきました。

借金負担（実質公債費比率）や財政の自由度（経常収支比率）などの指標や、貯金（財政調整基金）、借金（債務総額）の残高をもとに財政の現状をみると、氷見市の財政は概ね健全性を保っている状態といえます。

一方で、

- ① 人口が減少すると、市税や地方交付税の減少につながる
- ② 市の資産（道路、保育所、学校施設、公園等）の更新時期を迎え、サービス水準を維持するには、修繕等の更新費用がかかる

などの、将来予測に立って、バランスのとれた人口の増加につながる支出を意識し、財政の健全性を維持する必要があります。

したがって、今後40～50年先の人口予測や財政予測を見通しながら、未来の課題を先取りし、未来収益を予測して投資判断を行っていく必要があります。

次ページからは、将来に渡って更新していく「氷見市の資産の現状と今後の見通し」、人口減少社会に立ち向かうための道標である「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について詳しく説明します。

氷見市の平成28年度当初予算の内容や財政状況について、グラフ等を用いて分かりやすく記載しています。

(2) 平成28年度予算の個別事業紹介

地方創生4つのキーワード

基本目標

(P32～P41)

安定した雇用を
創出する



1

(P42～P53)

新しいひとの
流れをつくる



2

氷見
HIMICITY

時代に合った
地域をつくる



4

結婚・出産・子育ての
希望をかなえる



3

(P72～P93)

(P54～P69)

昨年10月に策定した
「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの
基本目標ごとに事業を分類し、紹介しています。

1 安定した雇用を創出する【予算額 9億910万円】

- 1) 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かしたビジネス化の実施
- 2) 氷見市内での資金循環の維持・加速
- 3) 子育てと両立する創業・雇用の創出

2 新しいひとの流れをつくる【予算額 2億5226万円】

- 1) 様々な世代の氷見出身者の還流(ふるさと氷見での人材の定着)
- 2) 「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現
- 3) 氷見ならではの魅力・強みを活かした交流の実現

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【予算額 5億6945万円】

- 1) 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できる生活の実現
- 2) 妊娠・出産に関わる負担の軽減
- 3) 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現

4 時代に合った地域をつくる【予算額 14億683万円】

- 1) 地域に住み続けるための健康的自立(健康寿命の延伸)
- 2) おらっちゃん創生(各地域・各団体等による各々の地方創生の推進による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環の確立)
- 3) 暮らし続けられる地域社会を実現する都市空間設計
- 4) 未来共創型の自治体経営モデルの構築

(2) 平成28年度予算の個別事業紹介

◆個別事業紹介の見方

①新規・拡充・継続の別

新規事業、拡充事業、継続事業の表示

③事業の担当課及び電話番号

この事業を行う課名及び電話番号

②事業費

この事業にかかる費用の合計

拡充 地域おこし協力隊事業費

60,899千円

前年度 12,610千円

担当課 秘書・市民とともに創る未来政策課

TEL 0766-74-8011

■ 少子高齢化・将来的な人口減少により地域の担い手不足や集落機能維持が危惧されているなか、地域おこしに意欲溢れる人材を積極的に受け入れ、新たな視点で地域を見つめ、地域住民と連携して地域課題解決や地域づくり、移住・定住、起業・実践を支援します。

■ 平成27年度から第1期生6名が、都市農村交流、移住・定住、6次産業化・起業支援の各分野で、これまでの経験や技能を活かして多くの団体と連携して活動しています。

■ 平成28年度には第2期生9名を募集し、地方創生実現に向けた活動や受入れ地域や団体等における地域おこし活動を主とする活動として配置する予定です。

(業務内容)

- 魚食の普及
- 映像制作の技術を活かした市の情報発信
- 移住希望者の現地VRリングや空き家物件情報収集・発信



④事業の内容

この事業の目的や、具体的に
に行う取り組み

⑤財源

この事業を実施するために必要
となるお金がどこから来ているか

⑥経費内訳

財源が、主にどのようなこと
に使われているか

源		経費内訳	
ふるさとづくり基金	60,899	協力隊報償費	32,130
		協力隊活動費	27,951
		協力隊募集経費	818

[単位: 千円]

(3) 暮らしの情報編

- 氷見市のホームページが新しく・使いやすくなりました
- 便利で簡単！マイナンバーとコンビニ交付サービス
- お父さん・お母さんの子育てをお手伝い
- 災害・緊急時はこのようにお伝えします
- 災害・緊急時の指定避難場所
- 市庁舎フロアをご案内
- 各課のしごと
- 庁内電話番号簿

(3) 暮らしの情報編

ホームページの使い方、子育て情報、各課の仕事など、日頃の暮らしに活用できる情報を掲載

1 氷見市のホームページが新しく・使いやすくなりました

■平成28年4月1日から、氷見市のホームページが新しくなりました。これは、市民とホームページ関連事業者で組織した検討委員会において、日本「市民にやさしい」「市民の声が反映される」「進化していく」ホームページの実現に向けて検討し、公開に至ったものです。この公開がゴールではなく、これからも市民の皆さんにとってより親しみやすく、また使いやすいよう改良を重ねていきます。ぜひ、パソコンやスマートフォンなどで、新しくなったホームページに遊びに来てください。

ホームページへのアクセスはこちらから ▶ www.city.himi.toyama.jp/

🔊 市が保有する情報を効果的に発信
調査の結果、市として持っている有用な情報が効果的に発信されていないという実態がわかりました。これらをつまみ、市が保有する情報のあり方について見直しを行いました。

❗ 広報ひみとホームページの情報連帯を強化
広報ひみに掲載された記事よりも多くの写真や、動画の閲覧ができるようになりました。ひみ永くグルメ博やひみまつりなどの取材では、多くの写真を撮影しますが、広報ひみに掲載できるのは数枚です。広報ひみ4月号から起用された「広報記事番号検索機能」により、これまで紹介できなかった写真を掲載したり、動画などインターネットならではの表現でより詳しい情報をお伝えすることができるようになりました。

? 「広報記事番号検索機能」について

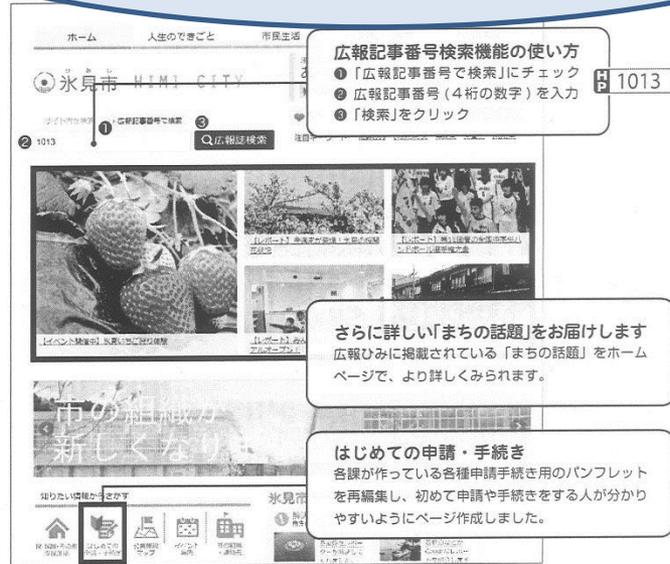
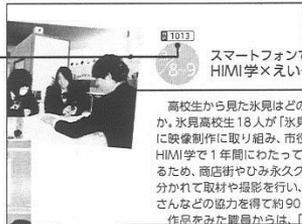
HP 1013

広報ひみ4月号から、記事と一緒に掲載されている番号

氷見市のホームページ上で気になる記事の番号を検索すると、その記事についての詳しい情報をご覧いただけます。



SNS(インターネット上の交流サービス)で共有(シェア)もできます!



広報記事番号検索機能の使い方
①「広報記事番号で検索」にチェック
② 広報記事番号(4桁の数字)を入力
③「検索」をクリック

1013

さらに詳しい「まちの話題」をお届けします
広報ひみに掲載されている「まちの話題」をホームページで、より詳しくみられます。

はじめての申請・手続き
各課が作っている各種申請手続き用のパンフレットを再編集し、初めて申請や手続きをする人が分かりやすいようにページ作成しました。

✉ 氷見市おしらせメール

登録はこちらから ▶ www.city.himi.toyama.jp/hp/shisei/kouhou/website/mail
大雨や大雪などの気象警報や避難勧告などの緊急情報や、地域子育てセンターからの子育てに関する情報をお届けします。
※旧ホームページで配信してきたおしらせメールを継続して配信希望の方は、登録済みのアドレス宛にお送りしたメールからご登録をお願いします。

🎥 動画配信ページ

登録はこちらから ▶ www.city.himi.toyama.jp/hp/special/movie
市政について分かりやすくお伝えるため、ケーブルテレビで配信されている氷見市政ナビゲーションや氷見市に関する動画を活用し、積極的に情報発信を行います。

お問い合わせ
秘書・市民とともに創る未来政策課
☎ 74-8012 ✉ shiminjyohou@city.himi.lg.jp

もっと知りたい・伝えたい
ふるさと氷見の今年の仕事
お金の使われ方

平成28年度
分かりやすい予算書

HIMI CITY

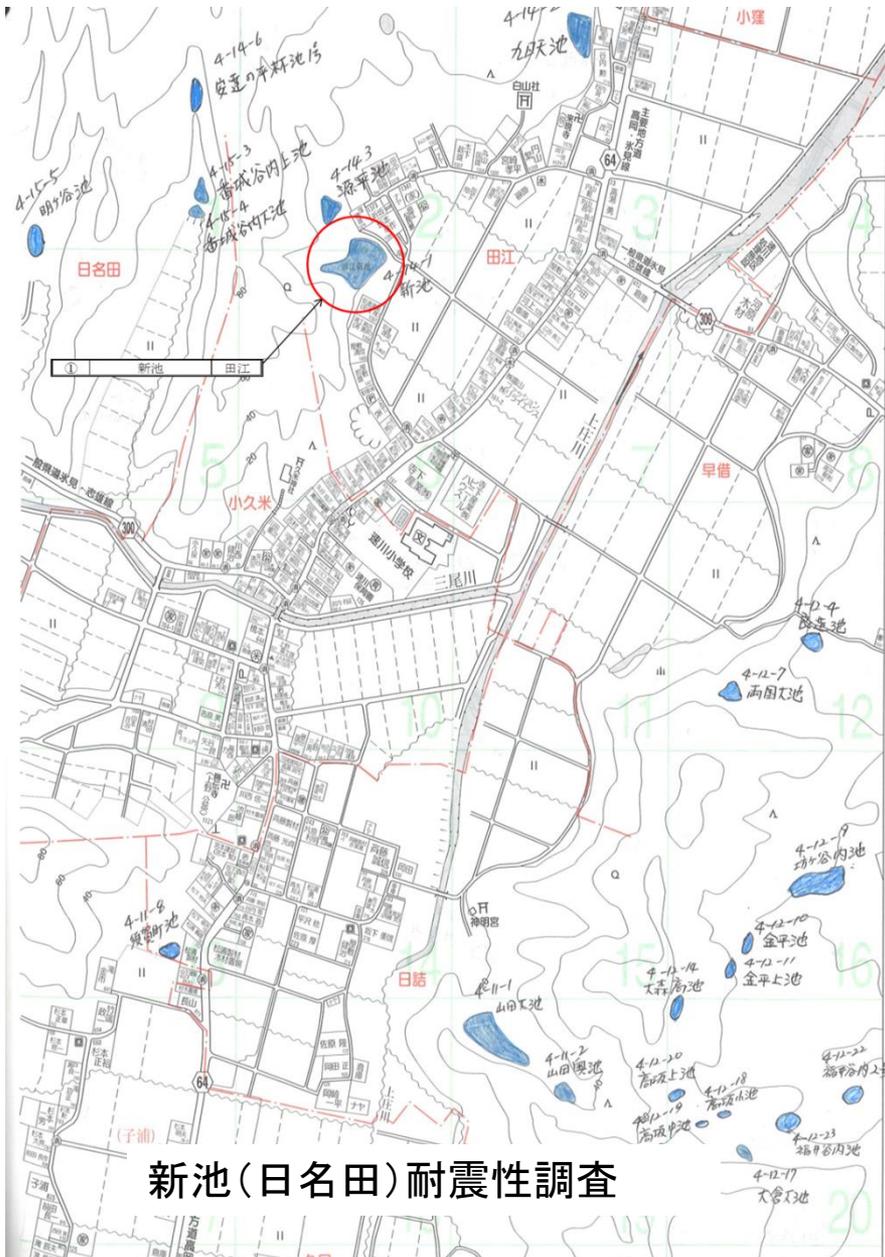


**ふれあいトークや
市へのご提言の際に
は、ご持参いただけ
れば幸いです。**

速川地区の事業概要

■地区の工事箇所

実施 年度	工 事 名	工事 (業務 場所)	契約(予定) 日	完成(予定) 日	契約金額また は予算額
H28	ため池耐震性調査業務(その9)委託	田江外1	H28.8.25	H29.1.31	4,806,000
H28	市道日名田熊無線路肩補修工事	日名田	H28.6.27	H28.9.23	6,861,240
H28	市道小久米床鍋線側溝補修工事	小久米	H28.5.25	H28.7.15	907,200
H28	市道日名田熊無線測量委託	日名田	H28.4.22	H28.5.9	126,360
H28	臼ヶ峰休憩所改修工事	床鍋	H28.6.24	H28.8.31	1,782,000
H28	中山間地域農用地測量業務委託	日名田外3	H28.7.15	H28.8.5	181,440
H28	西部中学校高圧電線修繕	小窪	H28.5.23	H28.6.30	766,800
H28	速川処理場ばっ気攪拌装置修繕	早借	H28.6.24	H28.9.30	1,296,000
				H28計	16,727,040



臼ヶ峰休憩所改修工事 H28.8完成



■工事以外の事業

28まちづくり
ふれあいトーク

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H28	定住者受入モデル地域支援事業	定住・半定住受入促進計画の作成及び実施に必要な経費を補助する。	553,000	商工業・しごとづくり・IJUターン応援課	
H28	第13回氷見キトキトウオーキング「せっかくウオークin臼ヶ峰往来」	第13回氷見キトキトウオーキングの前日に 速川地区の活性化のために、臼ヶ峰往来のコース周辺の整備や地域おこし事業の発信、及びおもてなしを実施。	100,000	氷見キトキトウオーキング実行委員会 (スポーツ・オリンピック誘致マネジメント室)	全体事業費 (富山新聞、氷見市、参加料) 1,862,600円
H28	NPOバス運営推進事業	日詰、葛葉、床鍋(速川)	17,754千円	都市計画・コミュニティデザイン応援課	
H28	安心生活創造事業	通院を目的とした外出支援サービスの利用希望調査を実施	300,000	福祉介護課(長寿・生活支援)	H26～
H28	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施	5,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	7月 臼が峰ウオーク
H28	三世代ヘルシークッキング	小学生とその家族を対象に三世代ヘルシークッキングを開催し、バランスのよい食事の大切さや食習慣について学んでもらう。	7,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	8月
H28	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう	2,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	7月～9月
H28	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義実践を行なう。	5,000	健康課	冬頃

■工事以外の事業

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H28	健康づくり料理教室	食生活改善推進員から一般住民へ生活習慣病予防の食事についての講習会を開催する	4,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	11～12月
H28	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。	3,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	11～12月
H28	道路の原材料支給事業	三尾 簡易舗装材 20m ³	194,400	建設課 道の管理	5月完成
H28	道路の原材料支給事業	小窪 簡易舗装材 20m ³	194,400	建設課 道の管理	実施中
H28	道路の原材料支給事業	床鍋 簡易舗装材 20m ³	194,400	建設課 道の管理	実施中
H28	道路の原材料支給事業	早借 簡易舗装材 20m ³	194,400	建設課 道の管理	10月予定
H28	道路の原材料支給事業	田江 簡易舗装材 20m ³	194,400	建設課 道の管理	10月予定
H28	道路の原材料支給事業	葛葉 生コンクリート 10m ³	203,040	建設課 道の管理	7月完成
H28	土地改良支援事業	早借 水路整備 BF300 L=20m	100,000	建設課 農林業基盤	5月完成
H28	地域防災力向上支援事業	災害対応力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的として実施される自主防災会主催の防災訓練に対する助成	100,000	地域防災室	

■工事以外の事業

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H28	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援 田江(1,474,054円)、早借(1,491,300円)、日詰(567,220円)、小久米(556,316円)、日名田(572,500円)、床鍋(233,940円)	4,895,330	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修) 営農活動(農業機械購入等)への支援 三尾(366,789円)、早借(2,397,299円)、小久米(258,398円)、日名田(395,283円)、床鍋(648,091円)	4,065,860	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 13件	501,000	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	WM柵 1件	937,000	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	地域コミュニティ活性化事業	地区の産業・特産品について学び実際に体験する。	23,700	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	床鍋伝承行事虫送り「大松明火祭り」と歴史の道100選・新日本歩く道紀行100選「臼が峰往来」ウォーク	33,900	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	速川地区文化祭において三世代交流餅つき大会と茶道を体験	23,700	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	料理教室(男の料理:魚のさばき方と手づくり豆腐、そば打ち体験)	20,300	中央公民館	

質疑応答

■ 質疑応答

① 舟山公園の継続支援について

早借地区はもとより、近隣地区の憩いの場として市の支援をいただき公園整備を順次実施しておりますが、トイレや水道施設（給水、手洗い）が完備されていませんので、トイレや水道施設の整備支援を要望します。また、設置場所について、できましたら農村下水道処理施設の敷地内で設置をお願いしたい。公園内に整備する場合には、新たな水道工事が必要となり、整備費が嵩みます。また、公園内は大部分が傾斜地のためスペースが取れません。

[回答]

舟山公園は、早借自治会、早借壮年会が、平成25～27年度の3カ年で速川地区全体の住民の憩いの場や世代・地域間の交流の拠点としてクリエイト・マイ・タウン事業を活用し整備されました。地域の方々の思いが込められたすばらしい公園であり、その眺望は、新しい地域の魅力となっているものと思います。クリエイト・マイ・タウン事業は、今年度から「おらっちゃ創生支援事業」と改称し、地域の新たな付加価値の向上や魅力アップになる取り組みを支援しておりますので、今回の要望につきましても地区の皆様と具体的にご相談させていただきたいと考えております。その他、コミュニティ助成事業（宝くじ助成）や全国に支援を求めるクラウドファンディングなどの活用もありますので、お気軽にご相談ください。

なお、ご提案の速川地区農村下水道処理施設について担当課に確認したところ、国の補助を活用して整備したことや場内には処理槽や機械、計器類があり、安全性や管理面で細心の注意が必要なことから、この施設内での整備活用は難しいとのことでした。



② 防火水槽の整備について

当地区には、防火水槽が5基あり、そのうち4基は有蓋防火水槽、残り1基は無蓋の防火水槽です。無蓋防火水槽は人命事故の危険があること。また、夏場にぼうぶらが沸き蚊が発生して近隣住民を悩ませていること。水が腐り藻が発生し臭くなることから、消防署へ有蓋化工事を要望しておりますが、構造的に無理と返答いただいております。については、早急にタンク式防火水槽への変更設置を強く要望します。

[回答]

ご指摘の早借地区、無蓋防火水槽については昭和28年に建設され、本体の強度不足や老朽化により、有蓋化工事が出来ないものです。

先日も水の濁りと異臭が発生し、清掃と水の入れ替えをを行いました。地区の皆様にはご迷惑とご負担をかけ申し訳なく思っております。転落事故の心配や夏場のボウフラや水質変化による異臭、震災時の水利確保の為、この防火水槽も、更新を予定しておりますが消防的見地により、計画的に実施しておりますので、宜しくお願いいたします。



③市道の補修工事について

市道早借 1 号線他 2 路線のアスファルト舗装面が経年劣化により、窪んでひび割れている箇所があり、早めに補修をお願いします。

[回答]

市道早借 1 号線他 2 路線の状況は、把握しています。年内中に補修を行う予定です。



④市道早借上田線の道路付帯施設の改修工事について

市道早借・上田線に架かる橋の橋台付近の道路側溝から早借川右岸へ落水している道路付帯施設が損壊したため水がスムーズに川へ流入せず、川の法面ブロックの内側の土砂が大量に流出し空洞になっている。このまま放置しておくことと更に酷くなることから、早急な対策（道路付帯施設の改修工事）を要望します。

[回答]

現地の確認は行いました。橋の取り付け護岸に設置してある4つの排水路のコンクリートが、脱落し、その水が護岸内部を侵食しております。補修方法を検討したうえで、次年度に補修を行うため、予算要求をしていきたいと考えております。



⑤ 氷見市民会館に代わる文化センターの今後の計画について

現在、市民会館が耐震化の問題で使用が制限されていると聞きます。現実的に、氷見市中学校音楽会が高岡文化ホールで行われていたり、氷見高校吹奏楽部のコンサートも高岡文化ホールで平成27年度から行われています。氷見市の文化施設がいつ、どこに、どのような施設になるのかということや市民は気にかかるところです。これまでの市民会館をどうするかということも含めて、意見を聞く会が何度も開催されながら、結論がなかなか出ないところに市民は、もどかしさを感じています。いろいろな検討委員会や県外の有識者の意見を聞くことも大切かもしれませんが、決定に時間をかけすぎであることと、事業の対応の遅れを感じることも多くあります。

そのほか市体陸上や小学校連合運動会等も高岡市の城光寺陸上競技場で何年も行われています。今後、市営の陸上競技場の建設の予定はないのですか。市民体育大会が地元開催で行われるようになるとういと思います。

[回答]

新文化施設につきましては、旧市民病院跡地での平成32年度のオープンを目指し、現在、基本計画の策定に取り組んでいます。

4月に設置した市民会議では、4回の議論の結果、「新しい豊かな氷見暮らしの拠点」として整備していく方針が示されています。

施設整備にあたっては、文化施設を核として多世代が交流できる公共施設と民間施設との複合化を想定し、地域課題である雇用の創出、地域の魅力創造に資する公民が連携した整備計画にしていきたいと思います。

このため、7月に公民連携手法による施設の整備や事業計画などの基本計画づくりを支援していただくパートナー事業者を選定し、第4回市民会議から、建築、マネジメント、ファイナンス、都市計画といった各分野の専門家チームに参加いただき、専門的な見地からの検討を進めています。

去る9月23日の第5回市民会議では、これまでの意見をもとに、周辺エリアを含む整備の基本的な考え方についてお示しさせていただきました。

今後は、専門家で構成するデザイン会議を毎月開催し、エリアビジョン、複合施設、規模、コンテンツ、事業計画等を詳細に検討し、来年1月には基本計画案をとりまとめ、市民の皆様にご公表させていただきたいと考えております。

今しばらく時間を要することにご理解いただきますようお願いいたします。

また、現在、陸上競技をはじめ、自転車競技、クレー射撃競技など、市民体育大会の数競技が近隣市町村のスポーツ施設で実施されております。ご承知のように、氷見運動公園の野球場や陸上競技場は、地盤沈下の影響で大きなダメージを受けて現状に至っており、特に陸上競技場は1 m以上の高低差が生じたことで競技場として機能しなくなったものであります。この運動公園内のスポーツ施設の整備につきましては、昨年10月に設置した「氷見市スポーツ推進計画策定委員会」に「スポーツ施設再配置部会」を設け、協議を進めております。

今後、スポーツ人口の見込みや、競技団体ヒアリングで得た情報等を勘案して、本部会で協議を深め、今年度末を目途に推進計画を策定し、その中で方向性を示していきたいと考えております。



新文化施設建設予定地
(旧市民病院跡地)

■ 質疑応答

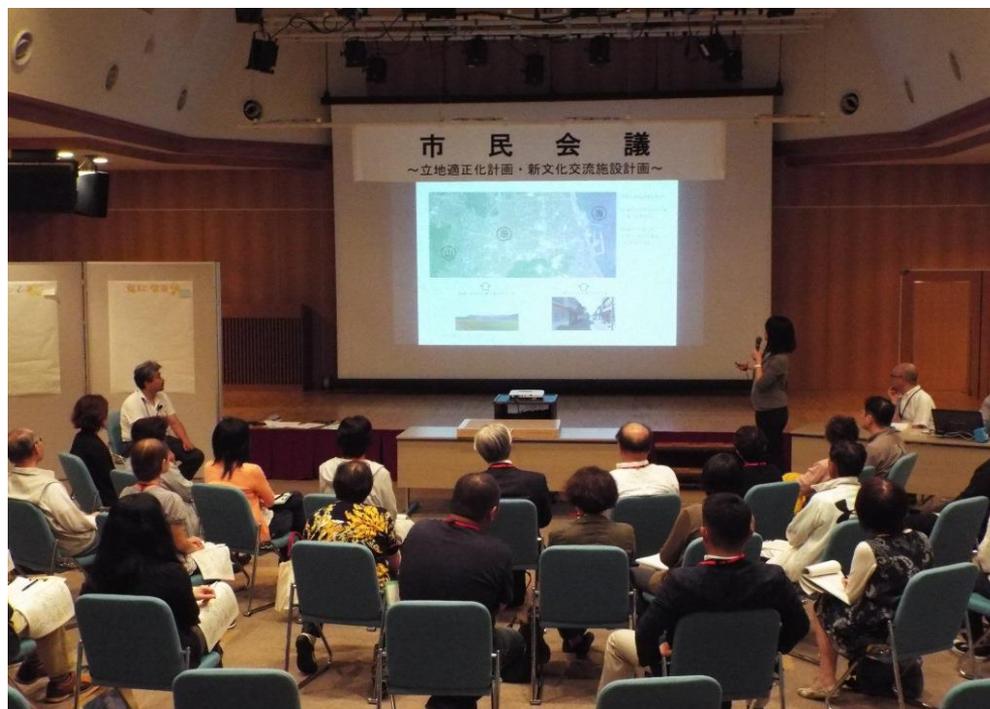
⑥市の予算の使われ方について

市の平成28年度分かりやすい予算書 p 79のように「公民連携による新文化施設計画推進事業費」の4,756,000円（前年度）経費内訳を見ると、（公民連携複合施設整備調査検討費3,792,000円、p 83「公共施設マネジメント計画策定事業費」の984,000円の内訳、専門家招聘経費603,000円、市民会議・説明会開催経費381,000円など、説明会や専門家の招聘に時間や費用を費やしてばかりで、事業の決定が未だになされていないところに無駄を感じるし、決断力の無さや市政の改革の遅れを感じます。氷見市の将来像に対する熱い思いが感じられません。他力本願的、無責任な姿勢が市政の遅滞に影響しているように思います。

[回答]

専門家を招聘する理由といたしましては、地方公共団体が公共部門の生産性向上を実現するとともに、真に行政として対応しなければならない政策・課題等に重点的に対応した簡素で効率的な行政を実現するためだと考えております。そのため専門家による知見やノウハウを積極的に活用することにより、より効率的、効果的に公共サービスを提供することにつながります。

今回の「公民連携による新複合施設整備基本計画推進事業」につきましては、公民連携の手法・ノウハウを取り入れるため、特に行政の苦手とする部分、ファイナンス（資金調達）や経営計画などに、専門家によるアドバイスや提言を受けながら、しっかりとした基本計画を本年度中に策定することとしたものです。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



また、本市の公共施設（建物）や道路、橋りょう、上下水道などのインフラについては、1970年代以降に集中的に整備されたため、それらが一斉に老朽化し、近い将来、更新時期を迎えることとなります。しかし、人口減少等に伴い、今後、市の歳入の大幅な減少が見込まれており、保有する公共施設等をすべて更新し、維持し続けることは困難であることが明らかになりました。これらを解決するために、今後の公共施設とインフラのあり方・施設ごとの将来の方向性について定める必要があることから、平成26年度より「公共施設マネジメント計画策定事業費」として取り組んでいるものであります。

市の歳入の減少にあわせて公共施設を減らしていければ、解決する問題ではありますが、施設の複合化などによる経費削減や民間活力を導入するなど、できる限り施設を減らさない（市民サービスの低下を招かない）よう工夫することが必要であり、先進事例の調査や専門家を交えて議論することにより、氷見市にあったよりよい解決方法を導き出せるものと考えております。

また、前述のとおり、この取組みは平成26年度より行っているものであり、計画決定まで必要以上に時間を要していると感じられるかとは存じますが、「施設の削減」＝「市民サービスの低下」を招く恐れのあるものであり、極めて慎重に進める必要があると考えております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



⑦速川小学校、久目小学校、明和小学校の将来像について

速川小学校の児童の減少に伴い、久目小学校、明和小学校との統合を考えていかなければならない時期がきていると思われる。市としてはどのような統合を考えているのか知りたい。

[回答]

速川小学校の児童数は、平成28年度は39人（複式学級が2つ）で、平成34年度には26人（複式学級が2つ）となる見込みです。

教育委員会では、小中学校統合審議会からの答申を受け、平成21年に、平成30年度までを目途とする小中学校将来計画を策定いたしました。

この計画では、久目、速川及び明和小学校は、複式学級とならないように統合を図ることとされています。

また、3校区は同じ西部中学校区であることから、意見がまとまることが望ましいと考えており、これまで各校区の自治振興委員や保護者の皆様と協議を続けてまいりましたが、現時点ではまとまるには至っておりません。

こうした中、本年度に、小中学校将来計画の進捗状況等を報告する小中学校統合審議会を開催することにしており、8月に、3校区の自治振興委員の代表の皆様に、各校区の意見の取りまとめについて相談させていただいたところです。

3校区の思いはしっかりと審議会に伝えてまいりますので、校区の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

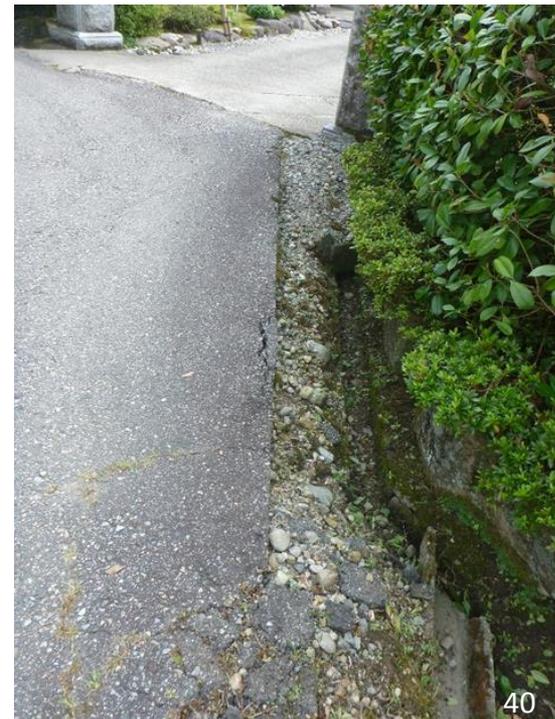
今後、市全体の小中学校の規模、配置等については、平成30年度に教育委員会の諮問に応じ、小中学校統合審議会において審議される予定となっております。

⑧市道の補修工事について

市道のアスファルト側溝近くが崩れ、側溝に土砂が崩れる状況の箇所があります。これまでも要望しているがなるべく早く補修をしてもらいたい。

[回答]

路肩の幅がなく、盛土勾配がきついため、路肩の土砂が崩れて側溝に落ちる状況となっております。工法を検討し、次年度以降、計画的に路肩補修を行ってまいりたいと考えております。また、蓋掛け側溝への改修に対して、材料費や機械借上げ料等を助成する道路整備地域支援事業もありますので、建設課へご相談ください。



⑨床鍋三山地内の市有地（森林組合使用）の土地について
荒廢地状態で草茫々になっています。せめて草だけでも刈ってもらいた
いのです。

[回答]

ご質問のあった土地につきましては、氷見市と森林組合が樹苗生産施設
用として平成3年から平成33年までの30年間の期間で使用貸借契約を
締結しております。森林組合では、これまで同地で公共用や個人用の「河
合谷杉」や「三尾杉」の生産を行ってまいりました。

今年度は春に、「河合谷杉」、「三尾杉」等の残苗の仮植えを実施しまし
たが、手入れがなされていないため、ご指摘のような状況となりました。
市といたしましては、森林組合に草刈をお願いしたところ、現在は、草刈
作業を行っており、作業完了後にトラクター等で耕うん作業を行ない、新
植の土壌を作る予定だと聞いております。

今後の利用につきまして森林組合では、平成28年度から「優良無花粉
杉（立山森の輝き）」の樹苗契約を富山県と締結しており、平成30年度
までには20ha（40,000本）に拡大して樹苗生産を行う計画と聞
いております。

氷見市といたしましても、当該市有地が目的どおりに使用されているかを森林組合に確認しながら、貸付者として管理をしていきたいと考えておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。



⑩ふるさと納税制度について

ふるさと納税制度は、今や安倍政権の地方創生の目玉政策として、全国の自治体が競っており、氷見市の実績（H27年、約5,000万円）は、県内トップクラスと頑張っていますが、都城市42億円、焼津市38億円、天童市32億円等に遠く及びません。氷見市の登録事業者として、市の還元率（自治体が納税者に届けるお礼の品の還元比率）大幅アップに期待します。ふるさと納税制度は、中山間地で販路もなく、当法人のような経営基盤がせい弱な法人でも全国を舞台に商売ができる絶好のチャンスを与えていただいているものであり、地方創生の旗手であることは論をまたない、御英断を期待します。

[回答]

ふるさと納税制度の目的は、1つには、地方創生の流れの中で東京一極集中を是正する、そして首都圏の税収を地方へ分散させるという趣旨を実現させるものであります。

2つには、ふるさと納税制度の特徴として、地域の特産品を納税額に応じてお送りすることから、地方から全国へ情報や名産品をお届けするという効果も期待されております。

■ 質疑応答

3つには、ふるさと納税の納税者を増やすことで、返礼品の売り上げも増加することから、地域における経済活性化にも大きな寄与が図られるものと思っております。

氷見市における平成27年度のふるさと納税の金額は約54,000千円(54,075,000)となり、また、返礼品の額につきましては、送料込みで約1千円(10,237千円)となったところであります。平成28年度につきましては、返礼品の還元率を2割から3割にアップさせ、ふるさと納税の年間総額1億円を目指しており、8月末までの実績で、納税額が2千円を超えており、前年同月比で約2倍となっております。

しかしながら、2年連続で御寄附をいただいた方、すなわちリピーターの割合が大変低いことから、継続して申し込んでいただけるよう、返礼品の還元率を含め、さらなる魅力アップのための工夫を重ねていくことが重要であると思っております。

現在、ふるさと納税のインターネットサイトに登録されている返礼品は87種類と、昨年度と比べて3倍となっており、今後も、域外へ氷見市をPRできる魅力ある商品を返礼の品として取り揃えることにより、リピーターや新規のふるさと納税者の獲得に努めてまいりたいと思っておりますので、速川地区活性化協議会様にもご協力をいただきますようお願いいたします。

⑪ 県道氷見志雄線について

平成27年3月に氷見南インターが開通してから県道氷見志雄線の車の通行量が増加しており、粟原側へ降りて行くときに急カーブがあり危険である。市の管理ではないが、市からも県等に働きかけをして欲しい。

[回答]

現地の状況は十分に把握しております。今後、地元のご意見の趣旨を踏まえ、県に働きかけていきたいと思っております。

おらっちゃん創生に 向けて

我ながら、バカがつくほどだと思
この地域を思う心は。

はじめよう。
MY地方創生
(おらっちゃん創生)

森杉 國作さん

昭和16年生まれ、八代在住。八代郵便局退職後、八代地区自治振興委員長に就任し、八代小中学校の統廃合問題に取り組む。八代環境パトロール隊の結成や、会長を務めるNPO法人八代地域活性化協議会が県内で初めて地域住民が主体となってNPOバスの運行を開始するなど、社会活動に精力的に取り組んでいる。その他、八代地区社会福祉協議会長や氷見市シルバー人材センター理事長などを歴任。





氷見元気やさいの会



意見交換会

速川地区代表
河上 昌俊 様